



2023年1月12日

各位

会社名 株式会社セイヨー
代表者名 代表取締役社長 飯塚周一
(コード番号: 2872 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営企画室長兼管理部長 宮島亜佐夫
TEL 025-386-9988

2023年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2022年4月8日に公表いたしました2023年2月期(2022年3月1日~2023年2月28日)の業績予想を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

(1) 2023年2月期通期業績予想の修正
(2022年3月1日~2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,600	80	90	68	138.14
今回修正予想 (B)	3,900	10	10	5	10.15
増減額 (B - A)	300	△70	△80	△63	
増減率 (%)	8.3	△87.5	△88.8	△92.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	3,957	56	69	63	155.27

- (注) 1 当社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。前期実績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となります。
- 2 2022年4月25日を払込期日とする第三者割当増資により、発行済株式総数が99,000株増加しております。また、2022年7月21日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、発行済株式総数が9,000株増加しております。前回発表予想及び今回修正予想における1株当たり当期純利益については、第三者割当増資及び譲渡制限付株式発行による増加株式数を考慮して算出しております。

(2) 業績予想の修正の理由

主力のアイスクリーム部門において、自社ブランド品の新規取引先の開拓や既存取引先への拡販等が堅調に推移したものの、アイスクリーム類を製造する新潟工場における製造設備入替時の不具合や第3四半期会計期間において機械トラブル等に伴う製造ロスの発生に加え、主に原材料価格やエネルギーコストの高騰が収益を圧迫する要因となりました。

当該事項の改善取組として、希望販売価格の改定、自家消費型太陽光発電による電力コストの軽減、製品スペックを維持しながらの製品原価の低減や高付加価値製品への取組み等、コスト削減・収益改善の取組みを進めてまいりました。

また、2022年9月26日に開示いたしました「セイヨー秋冬売上強化プロジェクト」をスタートさせ、2024年2月期までの第3四半期・第4四半期の営業黒字化達成を目指した

取組みを実施しておりますが、当該プロジェクトは初年度で取組効果は限定的であり、一般の原材料価格やエネルギーコスト等の高騰によるコスト増を吸収しきれない見込みとなったことから、2023年2月期通期業績については、売上高は当初予想を上回る見込みですが、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては当初予想を下回る見込みであります。

※上記の業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上